

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常やレクリエーション、行事などの外出支援が少ない。季節感を感じる為にも、遠出はなくても散歩など、一部の利用者ではなく、多くの方が出られるようにする。	季節感を感じられるように戸外へ行く習慣を作り、外出の機会を計画をする。	季節感を感じることができるように、普段の少しの時間でも施設の外へ行き、外気浴などから始める。会議にて話し合い、計画的にドライブなどを計画して実施する。	2ヶ月
2	10	面会時など家族からは意見を聞いているが、利用者本人のアンケートはできていない。家族もそうだが、利用者からの声を大事にして、日々のケアや運営などに反映させなければいけない。	年に一回は、利用者から簡単なアンケートを実施する。利用者から聞いて、出来る限り希望が叶えられるように努めたい。家族にも伝え、一緒に出来ることは協力依頼する。	利用者がわかりやすいアンケートの作成。その方に応じた方法を考える。人間関係の構築をして関わり、聞き出しやすくする。誰がやっても出来るようにする。	6ヶ月
3	35	避難訓練など、同じような訓練になってしまう。またAEDなど救命救急の研修が出来ておらず、職員の多くが使用方法がわからない。いざという時に困る。	あらゆる災害を想定した訓練を取り入れ行う。AEDなど救命救急訓練の実施。習得。	BCP(事業継続計画)研修会や毎月の会議などで、災害など訓練方法について話し合う。それを反映した訓練の実施を検討する。消防署などにAED講習を依頼する。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。